

会 議 録

会議名	第5回丸亀市総合計画審議会
開催日時	平成29年11月29日(水) 10:00~12:00
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p>出席委員 井原理代、森茂、岩崎正朔、久保田英俊、小池よう子、佐久間知恵、佐々木美紀子、藤田裕子、山下多加子、佐藤常光、直井敏彦</p> <p>欠席委員 逢坂十美、立山雄一、桑田桃子、浦山夏穂、森岡翔哉</p> <p>事務局 市長公室長 山田理恵子 (市長公室政策課) 課長 山地幸夫、副課長 富士川貴、総括担当長 志村芳隆、主査 宇野大志郎</p>
議 題	<p>1. 第二次丸亀市総合計画 素案について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地政策課長	ただ今より第5回丸亀市総合計画審議会を開会します。本日の配布資料の確認をさせていただきます。議事の進行は、会長にお願いいたします。
井原会長	<p>議事に入ります前に、本日16名中11名の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>まず、議事の1「第二次丸亀市総合計画素案」について事務局より説明をお願いします。</p>
政策課 宇野	<資料に基づき説明>
井原会長	計画の体系や整理の仕方、あるいは、施策の個々の内容についてご意見を頂戴できればと思います。それから、将来像をよりシンプルにしたいとの説明もありました。わかりやすいとは思いますが、平板な印象もあり、このあたりは考え方によって様々だとは思いますが、ご意見等あればいただきたいと思っております。
岩崎委員	最近、三豊市の取組みにしばらく関わっていたのですが、丸亀市とは市民の熱気が違うという印象を持ちました。自治会加入率が80%を超えており、行政が施策を打ったときに、市民の動く範囲が大きいのです。自治会加入率が40%台の丸亀市では、総合計画にいくら物語を並べても、市民の動く範囲が限られています。ここ半年ほど、自治会に入っていない団体と話し合いを重ねましたが、若い世代

	<p>ならまだしも、我々と同年代の方たちでも、まちづくりに関心のない人がほとんどです。環境問題一つをとっても、税金を払っているから、行政がするのが当たり前、なぜ自分たちがしなければいけないのかと権利ばかりを主張する、そんな人たちが多くを占めている実態があります。その割に、自治会についての記載がほとんどありません。まちづくりの車輪となる役割が欠けていては、総合計画をいくらうまく書いても、まちは動かさせません。</p>
直井委員	<p>同じ意見です。施策的には、29 地域コミュニティの活性化が該当し、成果指標に自治会加入率が入っていますが、自治会加入を促進する施策の記述がありません。例えばコミュニティバス料金が安くなるなど、自治会加入のメリットが見える取組みが欲しいと思います。</p>
井原会長	<p>自治会のことについて記載はあるのですが、埋没している気がします。ただ、どの施策にも「市民とともにまちづくり」という項目は設けられています。</p>
岩崎委員	<p>商工業や観光に関することを除いて、施策のほとんどが地域のまちづくりに関わってきます。</p>
久保田委員	<p>ただ今議論されている内容は、総合計画あるいは個別計画で記載するか、様々な手法があるかと思いますが、地域コミュニティの活性化については、個別計画がないとのことでした。</p>
政策課 宇野	<p>個別計画がない施策については、総合計画で方向性など定めていくことになります。</p>
久保田委員	<p>大きな方向性を総合計画で定めることは理解できますが、具体的な取組みとして個別計画が必要だと感じます。</p>
井原会長	<p>重点的取組に地域担当職員やコミュニティセンターの整備に関することが入っていますが、総合計画を動かしていくのは行政と市民であることから、自治会のことに関しては、重要な課題として位置付けるよう、改めた方が良いかと思いますがいかがでしょうか。</p>
岩崎委員	<p>コミュニティの運営に 20 年余り関わっていますが、活動にあたっては自治会が基幹的な役割を担っていると感じます。</p>
直井委員	<p>高齢者や子どもの見守りなど地域が担っていることは、行政の職員が直接できるようなことではありません。</p>

久保田委員	地域コミュニティの活性化における施策の展開の一項目として、自治会の活性化に関して具体的な記述があれば良いのではないのでしょうか。
山下委員	自治会への加入をそこまで強制されないから丸亀市を居住地として選んだという声も聞きますので、自治会加入率の問題は、相当力を入れて取り組まないと改善されないと思います。
山地政策課長	各委員のご意見のとおり、行政だけが主体となることができることには限界があり、地域の方々の協力を得なければ、これからのまちづくりは難しいと認識しております。自治会は任意の団体であるため、加入についてはご自分の意思と自治会とのやり取りのなかで決められています。ただ、委員ご指摘のとおり、まちづくりを進めていくうえで、現状がよくないことは確かであり、行政がどこまで強制力をもって誘導できるかという点が課題となりますが、市をあげて取り組んでいかなければならないものと考えております。
岩崎委員	他の自治体では、首長が先頭に立って自治会の大切さを伝えています。任意団体だから強制できないと、いつまでも逃げていては、まちは変わっていきません。地域の現状がわかっていないと思います。
井原会長	今回の総合計画を機に、市民の力を上げること、市民がまちづくりのもう一つの柱であるといったことが、うまく表せるような内容にして欲しいと思います。
森副会長	私は行政評価の委員もしておりますが、自治会への補助金も一人あたりにすればわずかであり、どれだけのことができるのかといった点も感じています。
山田市長公室長	自治会の加入について触れてはいますが、確かに重きを置いたような印象ではありません。協働の核となる地域コミュニティは、その中心をなす自治会なくしては成り立たないと認識しています。加入をあげる施策を検討してはどうかというご助言かと思しますので、具体的な表現ができるかどうか、庁内で検討いたしたいと思います。
山下委員	自治会に加入してもメリットが感じられないという認識だと思いますので、加入しないと損をするという施策を積み重ねるしかないと思います。
佐々木委員	PTA活動も同じですが、周りでそのように感じている人は多いです。PTA役員をしたら地元と繋がるのかと思っていましたが、それも弱いです。自治会についても、脱退しても困らないというのが現状です。
岩崎委員	日本の福祉の一環を支えている赤い羽根共同募金についても、自治会が中心と

	<p>なって努力していますが、自治会を脱退すると払わなくていいという、目先のことしか考えていない人が増えているのです。</p>
山下委員	<p>損得で自治会のことを考えているので、入ったら得すると思わせないと、考え方から変えるのは難しいと思います。</p>
岩崎委員	<p>メリットを感じる施策を行政が打たなければならないと思います。私の地元コミュニティでは、自治会加入者へのパスポートというものを作成して、加入者へのメリットを生む取組みを試みています。</p>
佐々木委員	<p>三豊市の加入率が9割を超えているのはなぜでしょうか。</p>
岩崎委員	<p>三豊市の場合、自治会に入っていないと、自治会のゴミ集積所は使用できず、市が指定した、自宅から遠くのゴミステーションまで行かなければならないと、行政が明確に取り決めています。</p>
山下委員	<p>ある意味、入らざるを得ない状況をつくっているわけですね。</p>
佐久間委員	<p>祖母が一人で住んでいた時、自治会の方が見守ってくれたりして、助かったという印象を持っています。一方で、いざ自分がという立場になると、仕事が不規則であったりして、自治会の活動に参加できるかどうかという不安があります。</p>
岩崎委員	<p>現在は昔と違って強制はしていないと思います。若い方を大事にしたいから、仕事があれば活動に参加できなくてもいいという対応をしています。</p>
佐久間委員	<p>おそらく、イメージがそうなってしまうのではないかと感じます。</p>
久保田委員	<p>自治会加入の方法論についてご意見が出ているかと思いますが、加入を促進することが総合計画の実現につながることをここでは打ち出すべきで、具体的な対策については個別の計画のなかで議論が必要かと思います。</p>
井原会長	<p>自治会についての個別の計画はないとのことですので、計画の実効性をあげるには、市民の力、自治会の力が必要であることを総合計画で明記する必要があると思います。</p>
岩崎委員	<p>滋賀県の方では、コミュニティ会員で共助の枠組みをつくるという手法により、加入率が増えているまちもあります。様々なやり方があると思います。</p>
直井委員	<p>自治会の問題を、重点プロジェクトの一つに掲げて欲しいと思います。</p>

森委員	高齢社会を迎えるなかでの助け合いの意味でも、重要な取組みだと思えます。
直井委員	独居老人の見守りも自治会がしていますし、災害時の対応にしても大切になってきます。
井原会長	各委員の様々な立場から考えても、ただ今のようなご意見ですので、この審議会の総意として受け止めて、計画の内容に盛り込んで欲しいと思えます。 それから、もう1点、重点プロジェクトを太字で表記していますが、これだと他の取組みが重要でないと取られてしまうという懸念があります。
小池委員	字体も違いますし、太字から目に入るので、同じような印象を持ちました。出版の編集に関わっていた経験から申しますと、重点項目を置くことは良いと思えますが、字体などは統一した方が良いと思えます。また、ページ参照にストレスを感じます。気になるページから読む人のことも考えますと、基本施策の内容にある重点プロジェクトが、どのページのどこにまとめてあるか、目が迷子にならないような工夫が必要だと思えます。
井原会長	事務局の方で対応をお願いしたいと思えます。その他、ご意見はございますか。
久保田委員	子どもの虐待に対する取組みは、重点プロジェクトの一つとしてあげていただきたいと思えます。
直井委員	重点的取組の1点目、「子育てするなら丸亀」について以前も申しましたが、国全体の動きとして子育て支援を充実している中で、ことさらこの項目を取り上げることに疑問を感じます。また、9番目の「みんなに自慢できる」というのは、別の表現が良いかと思えます。 それから、大手町4街区について、もう少し詳細を教えてくださいませんか。
政策課 宇野	「子育てするなら丸亀」については、個別計画のこども未来計画でもキーワードとして掲げられていますし、これまで丸亀市が重点的に取り組んできた経緯、これからも重点的に取り組んでいく強い思いがあります。 「みんなに自慢できる」については、自ら自慢するという表現は確かに違和感がありますが、丸亀市だけの魅力を表に出していきたいというメッセージを込めた表現としています。
井原会長	自慢できるに相当する表現として、誇れるという言い方もありますね。
佐藤委員	公営ギャンブルのボートレースが誇れる内容なのかも気になります。

小池委員	<p>重点的取組の主語が、行政なのか、市民なのか統一感がないところに違和感を感ずます。行政と市民、両方ならもう少し別の表現ができないでしょうか。</p>
井原会長	<p>市民と行政の両軸が明確になると、もっと市民の力が必要だということが、自ずと出てくるように思います。重点的取組は注目されますので、意図を明確に伝えられるような表現に整えて欲しいと思います。</p>
富士川副課長	<p>大手町4街区についてですが、こうした説明が必要な言葉については、注釈を加える予定としております。大手町4街区とは、市役所、旧市民会館、生涯学習センター、市民広場がある4つの区域を総称した表現として用いています。</p> <p>また、立地適正化計画については、人口減少時代のなか、都市機能をまちの中心に誘導し、コンパクトシティを目指すという趣旨のもので、国土交通省が各自治体に策定を推奨しています。大手町4街区についても、市役所本庁舎の建替えを控えていますし、こうした考え方を踏まえながら再整備を進めていきたいと考えています。国の都市再生整備計画の活用については、国の補助金を活用したいという意味で捉えていただければと思います。</p>
井原会長	<p>ただ今の内容は、総合計画の中でも重要な部分だと思います。コンパクトシティの考え方は、総合計画に反映しなければならないと思いますが、議論はどこまで進んでいますか。</p>
富士川副課長	<p>立地適正化計画については、現在策定に向けて作業中です。</p>
直井委員	<p>丸亀市の中心といえ、やはりお城の周辺であり、大手町4街区はにぎわいづくりの拠点にして欲しいと思います。</p>
山地政策課長	<p>詳細については個別計画である立地適正化計画で定めることとなりますが、総合計画としては現段階の方向性として、可能な範囲での表現になります。</p>
井原会長	<p>具体的な内容は個別計画で示し、それを総合的に結集したものが丸亀市の総合計画と認識します。まだまだご意見があろうかと思いますが、事務局から説明がありましたとおり、各委員から個別にご意見をいただく機会が設けられるということですので、次回の会議でそのご説明をお願いしたいと思います。</p>
山地政策課長	<p>各部署との調整も並行して行ってまいりますので、内容にいくらか修正が加わることもあろうかと思いますが、それも合わせて次回の会議でお示ししたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>